

はつらつ
ところっこ

茶園に込める狭山茶の真心



所沢市茶業協会 前会長

新井 重雄さん (三ヶ島在住)

生まれも育ちも三ヶ島。狭山茶一筋55年。1年を通し、生活の中心に狭山茶づくりがある。狭山茶に携わる事が出来たことは、とても幸せなことと語る。



◀(株)新井園本店の詳細はHPをご覧ください。



▲4代目の新井真一郎さんと新井園本店の三ヶ島の通販ショップにて

昔から「味は狭山でとどめさす」とうたわれる狭山茶は、所沢が誇る名産品のひとつ。「狭山茶を飲む時には、香りや味だけではなく、茶畑の風景も思い描いてもらえるとうれしいですね」と語るのは、昨年秋の叙勲で、旭日双光章を受章された新井重雄さん。祖父の代から続く狭山茶業農家の3代目。長年にわたる狭山茶の産地の振興や消費拡大などの業績が認められて、今回の受章となった。



▲旭日双光章の賞状と勲章

新井さんが生まれた昭和21年頃には家業は養蚕から茶業へ転換していった。長男である自分が家業を継ぐことに迷いはなかった。高校を卒業してすぐお茶の名産地である静岡で茶業全般を学び、21歳の頃から実家の茶業に専念する。25歳の時、小売1号店を当時新所沢にあった商業施設の一面に出店した。当時のお茶の生産農家は茶の栽培、製造、仕上げ加工までが中心で、製品としての茶の販売についてはまだあまり関心が向けられていなかった時代だった。「自社工場で誠心誠意仕上げ加工した狭山茶を自社の店舗で直接お客様にお届けできる。

お客様の声を次のお茶づくりに活かせること、そして何よりお客様から直接『おいしい!』と言っていただけ時などは生産者冥利に尽きます」と新井さんは表情を崩した。

新井さんは急須で入れる狭山茶の楽しみ方だけでなく、今の人の嗜好に合わせて狭山茶の消費スタイルにも積極的に挑戦している。気軽に飲める狭山茶のペットボトルの商品化のほか、狭山の抹茶を贅沢に使ったスイーツを堪能できるお茶カフェの取り組みも。



▲お茶カフェで味わえるスイーツの一例

新井さんは平成8年には狭山茶の生産者として初めて、権威のある天皇杯を受賞している。

「お茶作りで1番大切なのは、原材料となる良質なお茶の葉を育てることであり、そのためには『茶園』の肥培管理がとても大事。一番茶が伸びる春、4月になると遅霜による被害を受ける事がないかなど、新芽が順調に伸びるまでは、気の抜けない日々が続きます」と語る。

「自分がここまでやってこられたのは、多くの皆様のお力添え、ご指導、ご支援があつたこと。そして、いつの時代も苦楽を共にしてきた社員と家族の支えがあればこそ。人との出会いにも恵まれている。すべての事柄に感謝の気持ちを忘れない事が大切です」と、謙虚に語る新井さん。その姿は、狭山茶の味わいのように奥深いものがある。(取材：坂本)

今月のプレゼントクイズ!

華麗な舞と歌・ナレーションをファミリーで♪
NBA/バレエ団公演ペアチケット (S席2枚/14,000円相当×3組)



演目
「リトルマーメイド」
5月28日(土)午後5時開演
場 市民文化センター ミューズ
◎プレゼントは1日3回公演のうち3回目の部で、3歳から入場可能です。

所沢にある県内唯一のプロバレエ団。国際的に活躍するバレエ団員も在籍していて、市内での公演も積極的に行っています。プレゼントの「リトルマーメイド」は、カラフルな衣装の個性溢れるかわいいキャラクターたちが登場し、歌やナレーションも楽しめる演目。ファミリーにもおすすめ♪

●NBA/バレエ団 岩岡町281-11 ☎2924-7000

◎詳細は同バレエ団HPをご覧ください。



◆今月のクイズ

10・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法 (4月10日(日)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦4月号の感想を記入し、〒359-8501広報課に郵送・市HP (Qプレゼント) で応募
◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中!

詳細は、市HP (Qプレゼント募集) をご覧ください。



▲市HP

読者感想文

- 所沢が外国人に住みやすい町になることは、日本人にとっても住みやすい町になることだと思います (西住吉・70代)
 - 外国人が増えて国際化が進んでいる中、外国人と会話の機会がある時は分かりやすい日本語で対応したいと思いました (若狭・50代)
 - 市内に外国人がどのくらい住んでいるのか知ることができ、子どもの社会の勉強にも繋がりました (美原町・30代)
- 編集から ●所沢で暮らす外国人との関わり方を特集した3月号。コロナ禍で面と向かっての交流が難しい状況ですが、おもいやりの気持ちとやさしい日本語があれば言葉の壁は越えられるはず。

- みんなのひろばに掲載されていた猫の目力がすごく、かっこいいなと思いました。自分でも良い写真が撮れたら投稿してみたいです (上安松・30代)
- 編集から ●みんなのひろばの作品を楽しみにしている方はとても多いです。スマホで撮った写真でも投稿できますので、皆さんからのすてきな作品をお待ちしています!
- 地区自慢を参考にまち歩きを楽しんでいます (狭山ヶ丘・70代)
- 編集から ●特色ある自治会・町内会の取り組みを紹介する地区自慢(12面参照)。新年度は5月号から隔月で11地区の連載が続きます。お楽しみに!

編集後記

はつらつところっこのインタビューで新井さんから「五風十雨」という言葉を教えていただきました。5日ごとに風が吹き、10日ごとに雨が降るといふ、作物などが育つのに適した天候をあらわす言葉とのこと。調べてみると、転じて世の中が平穏無事であることのとたとえとしても使われるそうです。如月からの事を思い、どうか卯月はこの言葉のとおりを迎えられますようにと願う日々です (坂本)

桜の開花とともに、進学や就職など、環境の変化が激しい季節を迎えました。「また1年頑張ろう」と、気合を入れ直すタイミング。皆さんは、新年度はどんな1年間にしたいか、目標はありますか? 特集の施政方針では、これからの市の動きの概要を知ることができます。中には、自身の生活に関係のある事柄もあるかもしれません。ぜひご覧いただき、所沢の今後を一緒に考えるきっかけにしてください (宮崎)